

NBG605AEA□□ (□□は回線数)

施工される前に

- 正しく施工をしていただくために、必ずお読みください。
●施工するには、電気工事士・消防設備士（甲種第4類）の資格が必要です。
●施工後、必ず施工主に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。
●火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

- 受信機の運動データなどの現場調整設定内容の記録は施工責任者が保管してください。
●現場調整設定が必要です。必ず設定説明書を参考に設定作業をしてください。

付属品

- 取付用部品1セット
●予備品（ヒューズなど）1セット
●電池2コ
●施工説明書（本紙）1部
●取扱説明書1冊
●設定説明書1冊
●ユーザー設定用紙1部
●簡易取扱説明書2枚
●地図式ユニット取扱説明書1部

安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

警告

Table with safety warnings and instructions. Includes icons for '禁止' (Prohibit), '必ずやる' (Must do), and 'ぬれた手禁止' (No wet hands). Text covers disassembly, power confirmation, and handling of the device.

警告

人が死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容

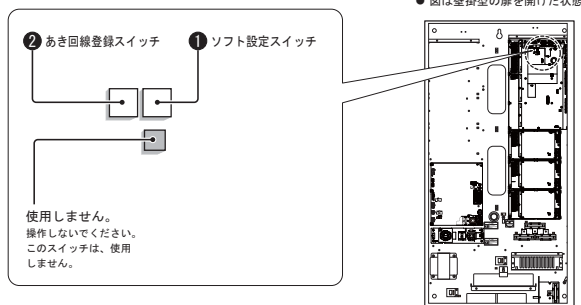
注意

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容

機能設定

注 そのほかの機能設定については付属の設定説明書を参照してください。

- 「ソフト設定スイッチ」「あき回線登録スイッチ」により機能設定を行います。



1 ソフト設定スイッチ

- 運動データなどの初期設定・設定変更・設定内容確認時に使用します。詳しくは、設定説明書を参照してください。

2 あき回線登録スイッチ

- 1. すべての結線が完了後、通電し、警戒中の状態にしたあと、本体内部のあき回線登録スイッチを1秒以上押ししてください。これであき回線はすべて登録されます。
2. 一斉試験をしてあき回線が、確実に登録されたか確認してください。（取扱説明書（点検・施工される方へ）参照）
もし使用回線表示試験のときにガス漏れ検知器・中継器の接続回線であるにもかかわらず、その地区が点灯している場合はその回線はあき回線に登録されています。あき回線登録スイッチを再度押しして使用回線にしてください。

受信機の電源を「切(OFF)」側にした場合でも登録は解除されません。

■ 全回線あき回線登録を解除する場合（設定内容を出荷時の状態にする場合）

- 点検スイッチを1秒以上押しして点検状態（点検スイッチ灯点滅）にし、あき回線登録スイッチを1秒以上押ししてください。（点検状態は点検スイッチを放した後、10秒間継続します。）

出荷時設定

全回線使用回線

施工上のご注意

- この商品は屋内専用です。屋外・屋側には設置しないでください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

■ 施工時のご注意

- 工事・施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。ショートや故障の原因となります。
●電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。電線をよじっただけでは、長期間使用中に電線表面が酸化接触不良をおこし誤作動の原因となります。
●強電ライン・AC100V配線と小勢力配線はできる限り離して施工してください。強電ライン・AC100V配線が小勢力配線の近くにあると誤作動の原因となります。
●接続方法に示す機器以外の機器を接続する場合には、当社へご相談ください。不適切な接続は誤動作・故障の原因となります。
●他社商品との接続は、仕様をよく確認してください。仕様が合わない誤動作・故障の原因となります。
●アースは必ず接続してください。（D種（第3種）接地相当以上（100Ω）以下としてください。）
●ガス漏れ検知器は監視時：6V、ガスもれ時：12V、トラブル時：0Vの電圧を出力できる有電圧出力型をご利用ください。
●ガス漏れ検知器および中継器には極性がありますのでご注意ください。
●ガス漏れ表示灯中継器およびガス漏れ中継器でガス漏れ検知器を接続しない端子がある場合、わたり線は、はずさないでください。
●ガス漏れ検知器を1回線当たり複数個接続する場合は、ガス漏れ中継器を介して接続してください。



■ 次のような場所には設置しないでください。（誤動作・故障の原因となります。）

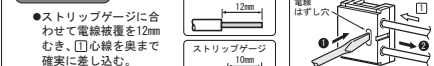
- 直射日光の当たる場所
●水漏、蒸気、ほこりなどがかる場所
●周囲に操作上支障となる障害物のある場所
●衝撃、振動などの影響を受ける場所
●常に人がいなくてようすを確かめられない場所
●薬品などのガスが発生する場所
●強電界やノイズの発生する場所

■ 速結端子のご使用方法

- 電線は必ず右記の単線を使用してください。
●速結端子への入線は、1端子あたり、1本にしてください。

●曲がった心線は使用しないでください。接触不良などをおこし、不動作の原因となります。

AC100V端子



小勢力端子

- ストリップゲージに合わせて電線被覆を10mmむき、心線を奥まで確実に差し込む。

電線のはずし方

- 1 電線を速結端子と水平にして、ドライバー(小)で解除ボタンを押しながら、2 電線を引き抜く。

導通確認のしかた

小勢力端子は、テスター孔にテスター棒を差し込めば接続したまま導通確認ができます。

取付方法

1 取付位置を決め、取付用プラグボルトを打ち込む。

- プラグボルト(M8)（市販品）の打ち込みと、配線を引き込む位置は右図の取付金具の取付寸法図のとおりです。
●この商品の取付穴寸法はφ14です。
●本体の底上げは15mmです。
●AC100V配線と小勢力配線を右図の位置より引き出してください。

注 本体の操作スイッチ部が床面から800mm～1500mmの位置になるように取り付けてください。 [図1参照]

2 入線を行う。

- AC100V配線と小勢力配線は分離して入線してください。

3 上側のプラグボルト(3ヶ所)で取付金具を壁面に固定する。

- 注 表裏を間違わないよう、図のように取り付けてください。
●床面に対し、水平になるように取り付けてください。傾斜角が大きいと受信機の扉の開き方が悪くなる場合があります。

4 本体を取付金具に引っ掛ける。

5 下側のプラグボルト(2ヶ所)で本体を壁面に固定する。

6 付属の取付ネジ(3ヶ所)で本体と取付金具を固定する。

7 配線する。※「接続方法」を参照

8 交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。

9 電池のコネクタを取り付ける。

10 本体の扉を閉める。

取付金具の取付寸法図

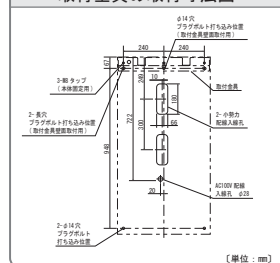


図1

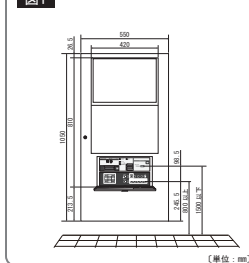
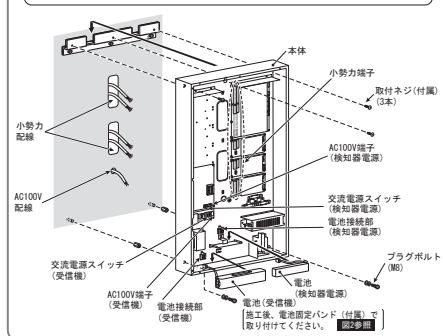
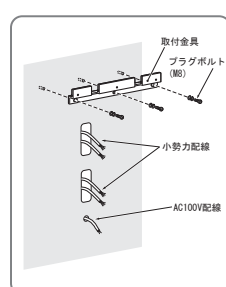
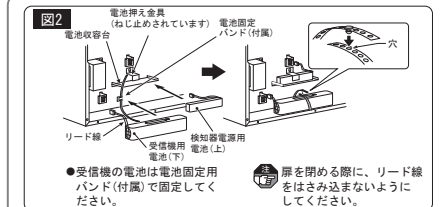
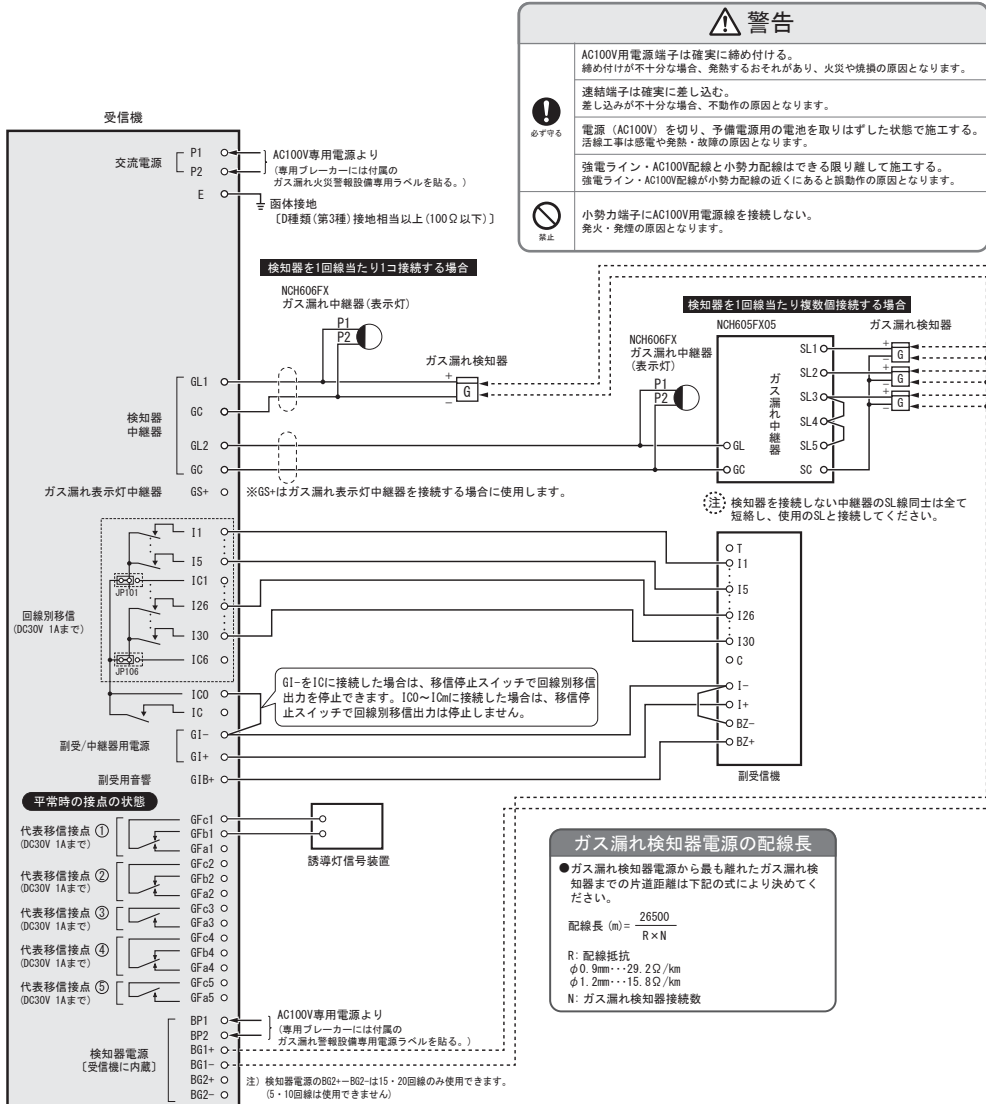


図2



全体の接続方法

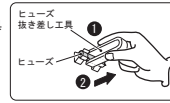


部品などの交換

警告
 ヒューズ交換は電源 (AC100V) を切り、電池を取りはずした状態で行う。
 感電のおそれがあります。
 ヒューズは必ず指定のものを使用する。
 指定以外のものを使用した場合、発火・故障の原因となります。

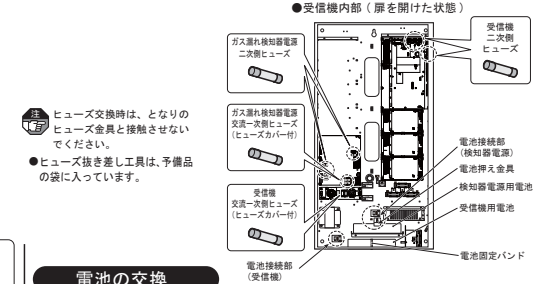
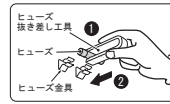
ヒューズの交換

- 取りはずし方**
- 受信機交流一次側ヒューズの場合
 - 1 ヒューズカバーを手前に引っ張り取りはずす。
 - 2 ヒューズカバーの角穴からヒューズ抜き差し工具を挿入し、ヒューズを押し出して取りはずす。
 - ガス漏れ検知器電源ヒューズ及び受信機二次側ヒューズの場合
 - 1 ヒューズにヒューズ抜き差し工具を挿入する。
 - 2 ヒューズ抜き差し工具をつまみ、引っ張る。



取り付け方

- 受信機交流一次側ヒューズの場合
 - 1 新しいヒューズをヒューズカバーに取り付ける。
 - 2 新しいヒューズを取り付けたヒューズカバーをヒューズ金具にはめて押し込んで取り付ける。
- ガス漏れ検知器電源ヒューズ及び受信機二次側ヒューズの場合
 - 1 ヒューズ抜き差し工具に新しいヒューズを挿入する。
 - 2 ヒューズ抜き差し工具をつまみ、ヒューズ金具に挿入する。

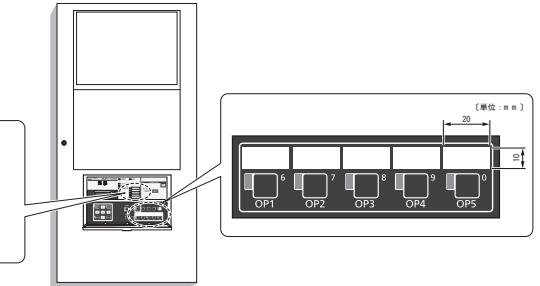
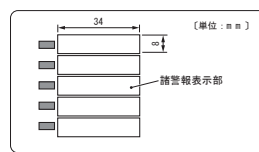


- 電池の交換**
- お願い事項**
 ●電池は、当社受信機専用用品 (受託評価適合品) を使用してください。(取扱説明書 (点検・施工される方へ) の14「定格・仕様」を参照)
 ●電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済の電池は捨てず、リサイクルへご協力ください。
 ●電池の寿命は5年です。取り付け日から5年を目安に交換してください。停電時、正常に機能しない場合があります。

- 取りはずし方**
- 1 接続コネクタの両端をつまみながら抜く。
 - 2 電池固定バンドをはずし、電池を取りはずす。
- 取り付け方**
- 1 電池を本体内部に収納し電池固定バンドで固定する。
 - 2 新しい電池の接続コネクタを差し込む。

諸警報表示部・OP (オプション) スイッチについて

- 諸警報表示部に名称を記入する。
 (諸警報表示部に枠内に収まるように記入してください。)
- 点検用スイッチカバー内にあるオプション1 (OP1) ~ オプション5 (OP5) の上側の白色部にスイッチの名称 (機能) を記入してください。
 (白色部の枠内に収まるようにしてください。)



ラベル表示について

- ◆ガス漏れ警報設備専用電源ラベル
- 専用ブレーカーの近くに貼り付けてください。

施工後の確認方法

- 受信機は、下記の試験をしてください。(取扱説明書参照)
 - 1 ガスもれ作動試験
 - 2 一斉試験
 - 3 電池試験
- 接続したガス漏れ検知器は下記の動作試験をしてください。

注) 詳細は、ガス漏れ検知器に付属の取扱説明書を参照してください。

 - ガス漏れ検知器に付属のテストガスで動作試験をしてください。
- 絶縁試験をする場合
 - 受信機の絶縁試験を行う場合は、ガスもれ警報設備への配線ははずしてから行ってください。
 - 外部配線相互間の絶縁試験を行う場合は、ガス漏れ検知器・受信機の外部配線を切り離して行ってください。また、絶縁抵抗が低下している場合は、周辺機器を破壊するおそれがあるため事前にテスターで抵抗値の確認を行ってください。

接続個数

接続機器	品番	接続個数
ガス漏れ検知器 (1回線当たり)	有電圧出力タイプ 監視時: 0V ガスもれ時: 12V トラブル時: 0V ※SH16932K (バナソニック製) 等	1コまで (中継器を介さない場合)
ガス漏れ中継器 (1回線当たり)	NCH605FX05	2コまで (直列接続の場合)
ガス漏れ中継器 (表示灯) (1回線当たり)	NCH606FX	1コまで (中継器を介さない場合)